

山形県教育振興計画検討委員会ご参加の皆様へ

池田めぐみ

本会議に出席できず申し訳ございません。書面にて意見を申し上げますこと、ご容赦いただけますと幸いです。

資料を拝読させていただきました。関係者の皆様におかれましては、取りまとめご苦労様です。以下、私からのコメントになりますので、ご確認の程宜しくお願い致します。

### 1. 目指すもの（目的、目標、コンセプト等）について

第 6 教振が新たに策定されようとした頃、私は息子を出産しました。あれから 9 年の歳月が経ち、息子は小学校 3 年生となり学校へ通う児童となりました。これまでの 9 年を振り返ってみると新型コロナウイルスの流行、無観客の東京オリンピック・パラリンピックの開催、そしてロシアのウクライナへの軍事侵攻、気候変動による猛暑日の連続等々、予測不可能な事態に対応する連続だったと思います。そんな中で第 6 教振の計画のもとで学校に通っている息子を通して、感じた想いを書きたいと思います。

#### ● 「いのち（身体と心）」を守る教育の推進

人は必ず心と身体を一つ持っています。災害時や緊急時、昨今では猛暑日も増えてきたため、自分自身の体調を把握し、適切に必要な行動をとる自己管理能力の高さが更に求められます。また、子供ですら肩こりがあり、歪んだ姿勢で日常生活を過ごしている、身体に痛みがある、思うように身体を動かさない状態に陥っている場面をよく見かけます。深い学びも、多様な発想も、身体が健康であるからこそ生まれてきます。従来の学校体育では、そのような学びの機会は薄いように感じます。子どもたち自身が、自分の力で身体を整え、コンディショニングできる力を育てる教育が必要だと感じています。身体を苦なく動かせるからこそ、新たな閃きや発想が生まれ、物事に集中できます。身体を整え、心を安定させ、子どもたちのライフパフォーマンスの向上に繋がる教育を山形では実現してもらいたいです。

#### ● 意思（Will）を育てる教育の推進

予測不可能な時代を生き抜いていくために、大切なのは意思を持つ力を育てることだと感じています。多くの情報が溢れるこの時代、真実や物事の本質を見極めることは、簡単なようでとても難しいです。自分の軸となる意思は、どのように育てることができるのか、皆様のご意見も伺ってみたいです。

#### ● プロセスの価値とは。教育を受けた後の人生は豊かになっているのか

スポーツは勝ち負けで、わかりやすい結果がでますが、それを教育の指針にしていいいものかと考えることがあります。もちろん目に見える成果や基準は必要ですが、スポーツに費やした時間や労力が、人生においてどんな価値と意味をもたらしているのか考えることがあります。スポーツに限らず、第 6 教振を通して育った山形の子供たちの人生が、その後どうなっているのかを知ること、第 7 教振を作成していく上で非常に重要になると思います。

### 2. 身につけたい力（資質・能力、コンピテンシー）

#### ● ライフパフォーマンス向上に資する力

### 3. これからの展望（学びの中身、学び方、学びの環境）

- 柔軟な教育計画の策定（令和の夏休み、運動会の開催、プールの開催時期の検討）
- 学校教育、社会教育の連動
- 現代の環境や状況を鑑みて、時代に合わない行事などの見直し、改善、進化